

【東区】在宅医療・介護に関わる多職種連携研修会

「理想の在宅療養生活について考えよう」

【開催日時】 平成25年10月11日(金) 19:00~21:00

【開催日時】 熊本赤十字病院 多目的ホール

【内 容】

1) 講演「わたしの夢の在宅療養生活」

熊本託麻台リハビリテーション病院

院長 平田 好文 様

2) グループワーク「理想の在宅療養生活について考えよう」

講演→
グループ
ワーク↓



参加者 278名 (東区の関係者中心)

・ 医師	18 人	・ 作業療法士	11 人	・ 臨床心理士	1 人
・ 歯科医師	1 人	・ 言語聴覚士	2 人	・ 介護支援専門員	48 人
・ 薬剤師	6 人	・ 管理栄養士	1 人	・ 介護福祉士等	6 人
・ 看護師	82 人	・ 歯科衛生士	3 人	地域包括支援セン ター	16 人
・ 理学療法士	19 人	社会福祉 士・MSW等	40 人	・ その他	24 人

グループワークで出された意見(一部抜粋)

テーマ「理想の在宅療養生活を考えよう」(キャッチコピー)

より小さいコミュニティで支える、安心と生きがい

みんなで支えよう、認知症とその家族

本人が望む幸せな生活

好きなところで好きな生活ができる

人生に生きがいを

わがままに生きたい

心の体力を養い、地域で生きがいをもって暮らす

本人の思いがあれば理想の在宅生活ができる

自分で選び自分で決める楽しい在宅療養～私たちは在宅医療の頼れる水先案内人を目指します～

みんなで支える豊かな生活を送りましょう

本人も家族も地域もいきいきとした社会

つながり～社会、人とつながって生きる～

好きな時、好きな事ができる、がんばれる生活

信頼の輪(和)で支えるトキメキ、ワクワク在宅生活

老活～いつやるの、今でしょ～

1人じゃない!

認め合い、支えあい、わきあいあい

入口(各医療サービス機関)からその人の出口(生きがい)を知る

情報の共有(みんなで連携、同じ認識)

独り暮らしの方でも在宅療養ができる連携がある

ありがとうと言って逝ける本人・家族・地域の手をつなぐ専門職

専門職として調整力を

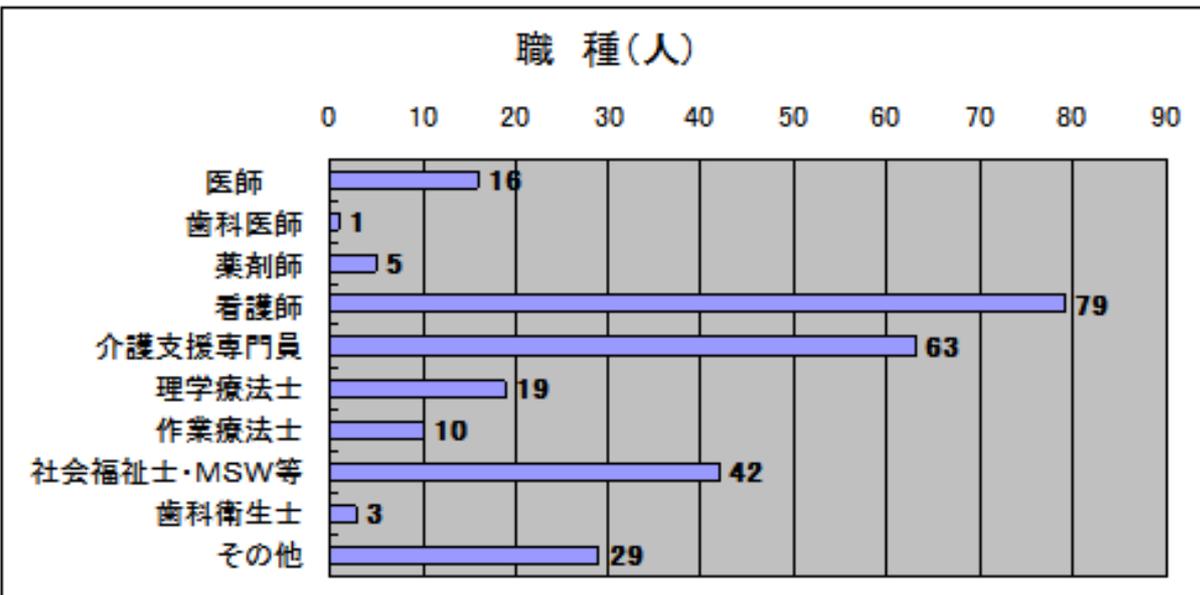
つなぐ力

公民館での退院カンファ

研修会後のアンケート

回答数 259 (回答率 93%)

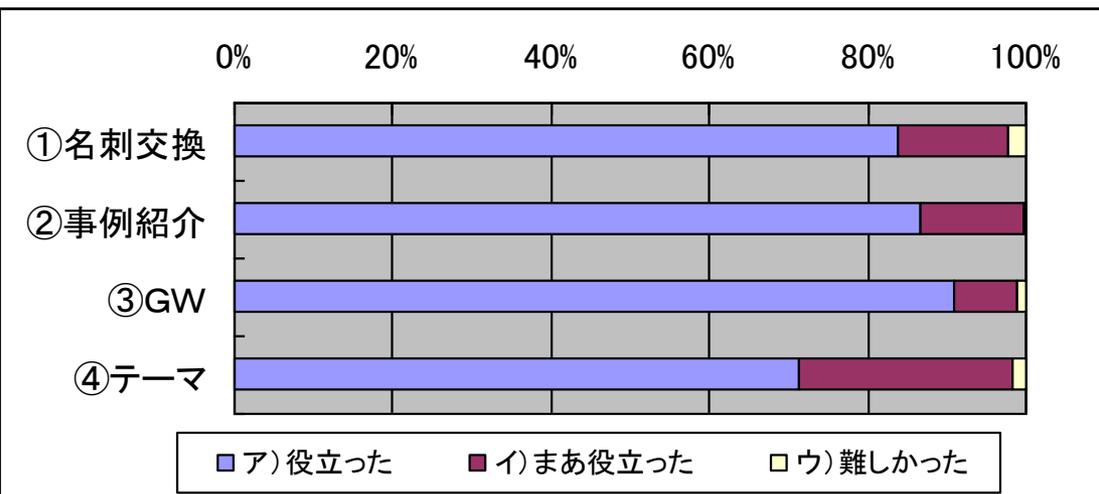
1 回答者



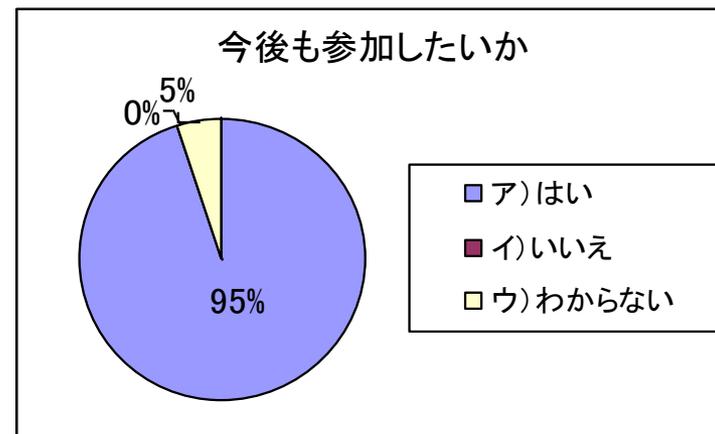
3 今回の研修会で新たに知り合った人数

平均 7.5人

2 プログラムについて



4 今後も参加したいか



4 研修会に関するご意見・ご感想（一部抜粋）

- 今後、在宅支援を進める上で、各職種の方がどのように考え、思い、患者や利用者のごことを支えていこうとしているのか再認識できた。
- 在宅生活を送っていただく為には、地域の人たちの協力、繋がりが重要であることを感じた。同じグループの訪問看護の方が患者のことを懸命に考えられていたことが素晴らしかった。
- こんなに多くの人たちが、支えあいに携わっている事に驚き感激した。
- これだけ沢山の方が参加するということは、各々が多職種連携の必要性を感じているのだと実感した。
- 他の参加者の考えがとても具体的かつ的確で、自身の勉強がいかに不足しているか痛感させられた。
- 利用者、家族の思いを汲み取る、聞く、引き出すという点を努力しなければいけないと思った。定期的を実施することで、今後の在宅医療連携が可能となると思う。
- 多職種での検討会は有意義である。次回もあれば是非参加したい。
- とても良かった。参考にしたい点が沢山あった。医師の参加が多くてすごいと思った。また参加したい。
- 具体的な連携が出来るよう今後発展できたらよい。
- テーマは難しく、もっと時間が欲しかった。各立場で意見が違うので、もっと知りたい。
- 在宅や病院の現場などいろいろな立場からこれからの在宅について考えることが出来て良かった。